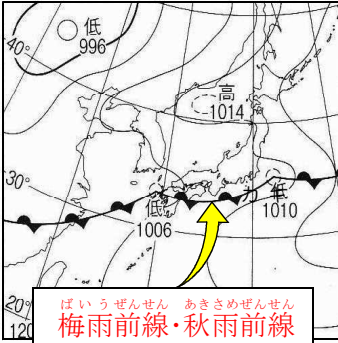
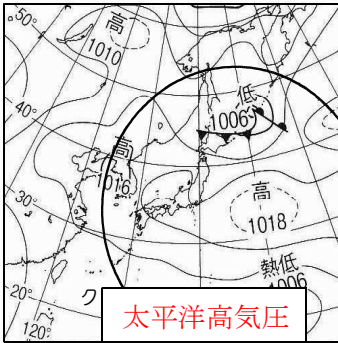


梅雨と秋雨



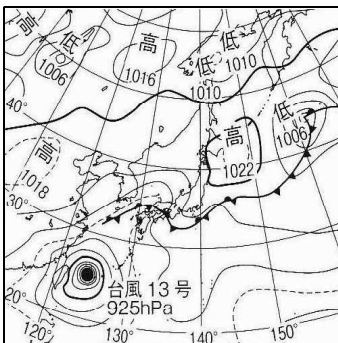
- ・暖かい小笠原気団と冷たいオホーツク海気団がぶつかる。
- ・2つの気団は勢力がほぼ同じで動かず梅雨前線(秋雨前線)とよばれる停滞前線を生じる。
- ・2つの気団はともに水蒸気を多量にふくみ絶え間なく雲ができ雨が降る。
- ・梅雨のころの天気は、じめじめして過ごしにくい、梅雨がもたらす降水は貴重な水資源になる。
- ・「からつゆ」のときは各地で深刻な水不足になる。
- ・北海道には梅雨はない。

夏の天気



- ・小笠原気団が強くなり日本を広く範囲におおい梅雨が明ける。
- ・小笠原気団の中心には太平洋高気圧があり大陸には低気圧。
- ・気圧配置は南高北低型とよばれ、南の海上から暖かくしめった南東の季節風がふき、蒸し暑くなる。
- ・午後になると積乱雲が発生し一時的に雷雨になることもある。この雷雨は夕立とよばれる。
- ・オホーツク海気団と勢力がおとろえず、小笠原気団が強まらない場合は、雨雲におおわれ続けて冷夏になる。

台風



- ・低緯度の熱帯海上に高温・多湿の赤道気団ができる。
- ・赤道気団では積乱雲が多数でき、熱帯低気圧が発生する。
- ・熱帯低気圧の最大風速が17.2m/sをこえたものが台風になる。
- ・台風は、同心円状の等圧線によって囲まれ中心部には直径20km~100kmぐらいの「目」とよばれる風が弱く雲のない部分がある。
- ・中心ほど等圧線の間隔がせまく、強い風がふく。
- ・温帯低気圧とことなり、前線をとまなわない。
- ・台風は8~9月に多い。これは偏西風の影響のためである。
- ・台風は、北上して海水温が低い海上にたつしたり、上陸して海面からの水蒸気がたたれたときにおとろえる。
- ・台風の強い風と大雨で高潮や大きな被害をうけるが、雨のおかげで水不足の解消になることもある。

高潮…台風によって海面が高くなる現象。